

ゆうき

VOL. 44

通刊81号

NPO法人熊本県有機農業研究会
広報誌 -無料-

ゆうきフェスタ2014 開催レポート!

15回目のオーガニックの
祭典だモン☆



相次ぐ有機関係者の受賞
全国合鴨フォーラムin人吉
連載コーナー復活! 農業を選んだよ "O(オー)"
オーガニック食クエスト "THE DAY CAFE"
はばたけ研修生! 卒業のことば
各部会の活動
事務局からのお知らせ

身土不二

熊本県有機農業研究会
判定員 山戸 陸也

今年には阪神淡路大震災から20年を迎えました。思えば片野先生は、この阪神淡路大震災をきっかけに環境保全型農業技術研究会(以下環保研)を設立されました。片野先生の研究室を卒業して2年目だった私も研究会の一員として、各地の現地検討会などに参加して、有機農業や自然農法で頑張っている多くの人達と出会うきっかけを作っていたできました。

また一昨年、片野先生に声をかけていただき、私もJAS有機認証の判定委員として熊有研の活動に参加させていただいています。

環保研の活動では、ジャンボタニシやコイによる水田の除草が普及したり、産山村から始まった酒米づくりが会員に広まるなど、有機農業や自然農法の普及と、生産者同士の交流という面で成果があったと思っています。環保研もこれまで、片野先生あっての会でしたが、これからは片野先生の想いに賛同した私達が、生産者の交流で技術を高め、消費者との交流で農業の大変さやたのしさを共有できるような活動をしたいと思っています。

昨年、新たな活動として環保研のフェイスブックページを作成しました。会員ではない方でも情報交換できたらと思っています。ぜひご覧下さい。ところで、私の本業は熊本県産産技術センター食品加工技術室で、加工食品の試作をしたり、農産物の成分分析をしています。よくある相談で、「うちの野菜はこだわった栽培をしているので、何かいい成分があるはずだからそれを分析してほしい」というものがあります。しかし、成分分析は分析したい成分が特定されていないと分析できません。「何か」ではなく、成分の指定をお願いします。また、加工品を作りたいという相談もあります。まずは施設整備を伴わない委託加工をお勧めします。委託加工に対応できる会社等のご紹介もできますので気軽に相談下さい。

《しんぶじ》...身体は土と離れてはあり得ないこと。
農業を営むひとたちにとって大切なキーワードとなっています。

第15回 熊本オーガニックの祭典
ゆうきフェスタ2014
 2014年11月16日(日) 熊本県農業公園カントリーパーク



15回目となる今年のテーマは「収穫感謝祭 オーガニックだモン!」。好天にも恵まれ、出展者90団体、約6800名の方にご来場いただき、大盛況で無事に終えることができました。今年には特に家族連れの方がたくさん来てくださったようで、広場中央に設置された竹ジャングルジムや、ちよんぼ、紙飛行機とぼし、竹とんぼ、など昔遊びコーナーでは、一日中、子ども達が遊び続けられることがありませんでした。有機野菜などの販売、食事ブースもずつと賑わっていました。荷物をお預かりする「野菜クロック」の利用者も多く、買い物3ヶ所(有機野菜

1、その他の買い物2)でスタンプを押してもらおう「オーガニック・スタンプラリー」も昨年の倍以上の参加者で、抽選会場はパニック直前でしたが、スーパードラゴンアアのスタンプがうまくさばりてくれました。有機米や、レア物のエコバッグなど様々な景品が当たった方の歓声が絶えませんでした。大人も子どもも皆さん楽しんでいただけました。笑顔にあふれた一日となりました。ご来場、ご出展いただいた皆さま、開催まで色々ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございます。事務局・尾池

盛り沢山のステージ企画

有機フェスタのステージを担当させて頂いている園田みつよしです。ステージ担当2年目になり、老若男女幅広い年齢層の方に楽しんで頂けるように考え、子供達の太鼓やクマモン、井上晴美さんのトークや、矢部清子さんの童謡、coblynさんのライブなど盛りだくさんでしたが、お客さんもお入れ替わりで見に来ていただけでバランス良かったんじゃないかなと思います。竹のジャングルジムも大盛り上がりで、常に子供が20人は遊んでいて作って良かったと思いましたが、子供が楽しく遊び伸び伸びと出来るフェスタをこれからも作っていきたくです。/ステージチーム・園田



広がる輪「環境ゾーン」

今回のゆうきフェスタでは、環境問題を扱うグループを、環境ゾーンとしてまとめて展示することにしました。熊有研の部会でいつも出展している



「種苗部」と「菜の花プロジェクト」、「生ごみ循環プロジェクト」をはじめ、今年初めての企画であるミニソーラー発電のワークショップ、ミツバチの巣箱作り(日本ミツバチを守る熊本の会)、GMO(遺伝子組み換え作物のこと)フリーゾーンの呼びかけ(GMOフリーゾーン全国交流会集会inくまもと実行委)などが加わって特徴のあるコーナーとしてアピールできたのではないかと思います。特に、ミツバチの巣箱作りや自家採種の小麦粉で竹巻きパン作りを体験できた種苗部のコーナーなどはとても人気があり、人だかりができてました。こんな風に楽しみながら環境問題をにuchれていく機会が持てるのは、やっぱり、フェスタならではのことでないでしょうか。来年に向けて期待が膨らみます。/環境チーム・間司

ポカシ肥料作り体験コーナー

お陰さまで満員御礼。「話を聴く」「材料を観る」「材料に触る」「ポカシを作る」を体験して頂きました。共通項は微生物ですが、多角的な視点からの奥深い内容になりました。講師・スタッフ・当日のお手伝いさん、そして来場者の皆さまのご協力に感謝申し上げます。/農業技術チーム・西&一同



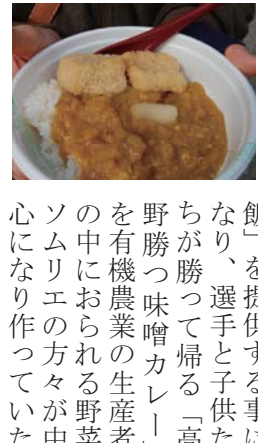
「コラボフェスタ」おいしくご紹介!

今年も食コラボを開催しました! 普段からオーガニックに携わる出展者の皆さんなら、きっとその良さを伝えられずはす。そして、その皆さんが互いに手を組めば、もっとおいしい発見になるはず。ということで、オーガニックの生産者さん、そしてそれを調理し販売してくれる皆さんで、フェスタならではの一品をオリジナル販売しました。/食チーム・大島



これで必勝☆スペシャルカレー

お店と生産者のコラボ企画は昨年より多く出展をお願いして11組の料理が出品され賑わっていました。出展者と生産者の紹介でも命を感じる食作りが伝わり有機農業の大切さが伝わってきました。また、プロのサッカー・バスケット選手による教室には多数の子供たちが参加され、今年初の企画で「必勝ご飯」を提供する事になりました。選手と子供たちが勝って帰る「高野勝つ味噌カレー」を有機農業の生産者の中におられる野菜ソムリエの方々を中心に作りつ



就農相談コーナー

今年も熊本県農業公社 熊本県新規就農支援センター様のご協力をいただき、就農相談コーナーを設置しました。有機農業での新規就農相談だけでなく、専門的な栽培技術について質問にこられた方もいらつしました。またステージでは、インタビュ形式で養成塾研修生の紹介と養成塾OBの就農体験発表も行いました。/養成塾・満田



毎年恒例! 熊有研の各部会も出展

★生ごみ循環プロジェクト

午前と午後一回ずつコンポスト講座を行いました。皆さん熱心に聴いておられ、質問も多く、関心の高さがうかがえました。参加者には基材とマニユアルを配布しました。また今年初めて、鹿本農高と一次産業さんの協力も得て作成したクイズを、ブースに來られた方がたにやって頂き、景品もあつたので喜んでもらえました。/奥山

★菜の花プロジェクト

山都町バイオ燃料協議会とともに、BDF関連の展示と、竹チップの有効利用に関する展示を行いました。それに加えて、GMOフリーゾーン宣言をした農家の宣言書を紹介したり、冬でも快適にBDFが使えるように燃料給油系統を改良したトラクターの展示を行いました。工夫の必要ありと痛感しました。/間司

できました。手作り味噌と玉葱とカレー粉だけで作ったシンプルな味ですが有機野菜だから出せる旨味は格別でした。子供たちには、大地の恵みを食べ遅く育て欲しいと思います。/食チーム・東島

大人気のスポーツ教室

今年もロアツン熊本さんのサッカー教室、熊本ヴォルターズさんのバスケ教室を開催しました。プロの技を身近に感じることが出来て、子供たちも皆楽しそうでした。ひよつとしたら、有機の食材を食べた育った将来のロアツン選手、ヴォルターズ選手がこの中にもいるかもしれせんね! /遊びチーム・安藤



フェスタ名物!? リュウスイ食器

会場での飲食には、繰り返し使えてゴミやエネルギーを抑えられるリュウスイ食器を使用しています。来場者が使い終わった食器を返すと、米糠で拭き取って食器代を返金するのですが、この光景もすっかりお馴染み! 今年も、出展者や東海大学農学部農法研究部の部員の皆さんなど、たくさんの方のご協力で、無事実施できました。/食器チーム・出田



★食農育部

簡単なやさしいクイズを5問作成し、対面で説明をすることで興味を示された方々に、会場の各ブースにて購入して下さいね! と呼びかけたとこ(100名程度)、とても好評だったので、今後は「やさしい専用インフォメーションコーナー」を備えてみては? とアイデアができました。如何なるときでも、作物を育てる農の現場にスポットをあてる方向性をアピールすることが肝心なんでしょうね。/市来

★種苗部

今回は、若い部員の人たちが農コンに出席しなくてもよいとのこと、「部員がフェスタをしつかり楽しもうよ!」のコンセプトで話し合い、有機の人参ジュース、有機の小麦粉を使った竹巻きパンの試食、自家採種の有機の種の配布をやり、とても好評でした。次回ももっと楽しみます。/徳田

★広報部

広報部では有機農法、有機JASを多くの人に知ってもらうため、昨年引き続き、有機雑穀のプレゼント付きクイズを実施しました。「熊本の有機農業に期待します」との励ましもいただき、100セット準備したクイズとプレゼントも、お昼前には終了となりました。/末永



種苗部

2年前から若い部員が7名入ってくれて、いっぺんに部会の雰囲気明るくなり、会議も毎月盛り上がり話はずみ、楽しい部会です。会議の中で野菜の作り方や育て方まで広がり、今年も楽しい一年が始まりそうです。

若いあなたも種苗部に入ってみませんか？待ってまーす！（徳田 勇次）



青年部

青年部の活動は、ここ最近ちょっとお休みしていますが、熊本のひよっこ農家たちも将来の自立に向けて、分の足で大地に根差して立てるべく、日々それぞれのフィールドで頑張っています。

今後は、勉強会や交流会などを計画したいと思いますので、気軽に声掛け、ご参加お待ちしております。（安藤 光一）

生ごみ循環プロジェクト

2014年8月には研修として、福岡で早くからコンポストに関する活動を行ってこられたNPO法人循環生活研究所を尋ねました。体系的な講座や基材の開発・販売、農業の実践、教育現場への展開など、地域や若者を巻き込んで積極的に活動されていることを教えていただきました。そういった活動は、事前の調査・研究と入念な準備の下で実行されており、関わる方々の情熱とエネルギーを実感することができ、とても参考になる研修でした。

引越して今は福岡在住のメンバーや、熊本市担当課の職員さん2名とも一緒に、移動や休憩の時間にはいろいろな話をすることができました。外に出かけていくのは少し大変な面もありますが、刺激を受けられてやっぱりとても良いですね！これからもまた楽しみながらがんばっていききたいと思います。



部会活動報告

熊有研には現在部会が6つ。それぞれメンバーが自主的に集って活動しています。興味があるものがあったら、一緒に加わってみませんか？
お気軽に事務局までお問合せください♪

菜の花プロジェクト

GMOフリーゾーンを宣言し、広げていこう

2015年3月7日、阿蘇でGMOフリーゾーン全国交流集会が開かれます。菜の花プロジェクトも熊有研からの代表として、その実行委員会に参加しています。

GMO（遺伝子組み換え作物のこと）は大豆、トウモロコシ、菜種、綿花などで海外で広く栽培されるようになってきています。日本ではまだ商業的な作付けはなされていないようですが、作付けされるのも時間の問題とも言われています。

特にTTPが妥結して、国内農業が国際競争力にさらされるようになり淘汰が進んでいくと、北海道などの大規模経営の中で作られ始めるのではないかの懸念を示す人もいます。そうでなくとも、輸入に頼る食用油の原料として持ち込まれた菜種がこぼれて、GMOの自生菜種があちこちで発見されるようになってます。

こんな時ですから、自ら積極的にフリーゾーン宣言をして、持ち込ませない、作らせない、さらには食べないという声を広げていきましょう。（間 司）

食農育部

食農育部では「生産するところを大事にしないちゃ！」と思う人を増やしていくことを軸に、活動を進めています。生産の現地に出向き、五感で体感するよう努めています。とても便利な世の中ですが、それでも手づくりを基本に、手抜きをせずに育ってくれる農作物と、お百姓さんたちに感謝ですね。

これからも私たちは、「使い切る知恵」を自ら育てながら、生産地域にエールを送り大事にしていることを一番に取り組んでいきます。折にふれ想いをはせてくださると幸いです。（市来 真）



出展者一覧（順不同）

おかげさまで賑やかに開催することができました。ご出展ありがとうございました！

アースノート
青砥さんちの野菜畑
(株)阿蘇ハーブファクトリー
アトリエYurika
天草育組
アンデス物産
アンナブルナ農園
株式会社 一次産業サービス
癒しの小屋 てのは 喫茶部
うき有機農業プロデュース(宇城市有機農業推進協議会)
MOA自然農法 熊本県連合会
株式会社 オキ アルム事業部
おしゃべりハンドメイド雑貨店
株式会社 果実堂
カフェ 風琉
カフェ ココペリ
熊本県立鹿本農業高等学校 バイオ研究会
キッズ野菜ソムリエになろう！InKumamoto
～キッズ野菜ソムリエ育成プロジェクト～
九州農政局 消費者の部屋
九州の食卓
生活協同組合 熊本ののちと土を考える会
くまもとグリーン農業推進本部
熊本県農業公社 新規就農支援センター
(株)くまもと産直クラブ
(有)くまもと有機の会
一般社団法人 クリーン帯山
グリーンコープ生協くまもと
グロワーズマーケット熊本
健康農園

紅茶の店 ちゃい
工房どんぐり
国際竹とんぼ協会・熊本本部
こどもの給食を考える会 くまもと
ごばん屋 うっでいー
GOMBO GOMBO
THE DAY CAFE
GMOフリーゾーン全国交流集会inくまもと実行委員会
堀内油屋
松合食品(株)
マルシェ・オ・パン
株式会社マルタ
まるは油脂化学株式会社
農事組合法人 美里ゆうき協同農園
味噌の中山大吉 商店
株式会社 緑の資産
みゆきの里(田園キッチン・ピオサルーテ)
美緑こふれ株式会社
NPO法人 メダカの学校
熊本県立矢部高等学校 生活・園芸部
山都町有機農業協議会
やまとベジ
養生伝承館&養生農園
養生カレー
Reborn
有限会社 渡辺商店
熊本県有機農業研究会 菜の花プロジェクト
熊本県有機農業研究会 種苗部
熊本県有機農業研究会 生ごみ循環プロジェクト
熊本県有機農業研究会 広報部
熊本県有機農業研究会 食農育部

肥後ちゃんかけごま保存会
人吉市有機農業推進協議会
百草園・千草会・万葉村
株式会社 ファミリアホーム
フェアトレードシティくまもと推進委員会
ベジ食堂 そらの実
POP COFFEES
堀内油屋
松合食品(株)
マルシェ・オ・パン
株式会社マルタ
まるは油脂化学株式会社
農事組合法人 美里ゆうき協同農園
味噌の中山大吉 商店
株式会社 緑の資産
みゆきの里(田園キッチン・ピオサルーテ)
美緑こふれ株式会社
NPO法人 メダカの学校
熊本県立矢部高等学校 生活・園芸部
山都町有機農業協議会
やまとベジ
養生伝承館&養生農園
養生カレー
Reborn
有限会社 渡辺商店
熊本県有機農業研究会 菜の花プロジェクト
熊本県有機農業研究会 種苗部
熊本県有機農業研究会 生ごみ循環プロジェクト
熊本県有機農業研究会 広報部
熊本県有機農業研究会 食農育部

協賛一覧（順不同）

ご協賛いただきありがとうございました！今後ともどうぞよろしく願いいたします。

うき有機農業プロデュース
(株)内田安喜商店
エコイベントを進める会
(株)オキ アルム事業部
(株)果実堂
九州自然食品協同組合
生活協同組合 熊本ののちと土を考える会
くまもと産直クラブ
熊本県農業協同組合中央会
(有)くまもと有機の会
グリーンコープ生協くまもと
(有)グリーンファーム熊本
健康農園
産直クラブ
GMOフリーゾーン全国交流集会inくまもと実行委員会

秀明自然農法ネットワーク
医療法人社団寿量会 熊本機能病院
(有)シリカファームしすい
大東肥料株式会社
種の未来交流会 実行委員会
(株)ティア
中重企業株式会社九州支社
日本ミツパチを守る 熊本の会
(社)農山漁村文化協会 九州・沖縄支部
(株)原田アイガモ孵化場
(有)肥後あゆみの会
肥後銀行神水支店
人吉市有機農業推進協議会
百草園
PURELY
(株)ファミリアホーム

(株)本伝九曜紋
松合食品株式会社
松下生活研究所
(株)マルタ九州事業所
(株)ミズタホーム
みゆきの里
山都町有機農業協議会
やまとベジ
合同会社 有機生活
JA熊本経済連グループ you+youくまもと農畜産物市場
株式会社ろのわ
(有)渡辺商店

- ◆主催 熊本県有機農業研究会「ゆうきフェスタ2014」実行委員会（実行委員長：青木悦朗 副委員長：渡辺真明）
- ◆共催 くまもと有機農業推進ネットワーク
- ◆後援 公益財団法人熊本県農業公社・九州農政局・熊本県・熊本市・合志市・熊本県教育委員会・熊本市教育委員会・合志市教育委員会・菊陽町教育委員会・熊本県農業協同組合中央会・熊本日日新聞社・NHK熊本放送局・KAB・KKT・RKK・TKU・FMK

※この事業は、一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けて開催しました。



毎日をスペシャルな一日に THE DAY CAFE



ガラス張りの正面扉から店内に入ると、天井の高いゆとりある空間。レジの前には、オーガニック商品や、熊本県産の有機農産物が並んでいます。賑やかな飲食店街の中にある「デイカフェ」は、しばしば忘れがちな「自分の時間をじっくりと味わう贅沢」を思い出させてくれました。丁寧に調理された食品たちも、その効果に役買っているのかもしれませんが。たとえば、普段の食卓で親しみ深い里芋が、サクサク食感の楽しめるコロケに変身していたりと、オシャレな姿で登場しています。また、サラダの付け合せの白いディップ。ほんのりした甘さに「何かな?」と原

材料を訊いてみると、玄米甘酒をベースにしているとのこと。甘酒を調味料として使うと、奥行きのある甘みが出ることを教わりました。味もさることながら、素材に対する思いも熱い!植木町には、オーナーファミリーが作付けしている畑・デイファームがあり、できた野菜(現在は白菜・大根・お茶など)をお店で使っています。また、その他の米・野菜も、オーナーとの繋がりのある生産者から購入するなど、地元・熊本県の農産物・生産者を大切に作る方針も、このお店の心地良い空気を作る要因なのかもしれません。<広報部・半田恵美>



THE DAY CAFE
熊本市麻生田4-2-40
TEL:096-338-3355
営業:11:00~19:00
定休日:水曜日

連載コーナー復活! 有機農家の道を歩み始めた仲間をご紹介します♪ “農業をえらんだよ” Here, we became real organic farmers!!

再開第1回は、若手有機農家グループ「O」のみなさんにお話を聞きに行きました。「O」という名前には、「オーガニック」、「輪」、「おしゃれに楽しく」、「おおらかに」という意味が込められているそうです。



若手有機農家グループ “O”

立ち上げは2013年5月。ゆうきフェスタ出展を機に活動を始め、今年で3年になります。個でやるより団でやった方が、お互いの弱点を補え、販売も軌道に乗りやすいんじゃないか!?どうせなら、楽しくやっつけよう!と集まったメンバーは、現在15名。有機農家としての成長と知恵、アイデアを求めて、メンバー募集中です。

活躍が期待される「O」の今後の活動は、勉強会などの他に、市街地などで開催されるマルシェへの共同出店を予定しているそうです。4月からは、下通り三年坂で定期的に出店すること。元気をもらいに出掛けて見ませんか?



森永 武志
私は、百草園の間さんのもとで一年間研修して昨年末に就農しました。現在は菊池市の菊池溪谷の麓で有機栽培しています。就農一年目という事もあり失敗する事も沢山ありますが、今年には自分の畑にあった作物をさがす為多品種の作物を育ててみようと思っています。

櫻井 俊也
宇城での1年間の研修を終えて、天草に移住しました。今後は、地域の素晴らしい環境を守りながら、循環できる農業を目指したいです。

中村 昂
山都町金内という地区で新規就農しました。栽培品目は夏秋のミニトマトを中心に少量多品目で栽培予定です。就農した地域が限界集落と呼ばれる場所であり、そのような集落を守っていきけるように頑張ります。

オーガニックの風

いま、オーガニック=有機が求められている!
そんな風を感じる話題をあつめました

県の農業コンクールや国の農林水産祭で有機農業の受賞があいつく
平成25年度熊本県農業コンクール大会「食と農部門」で、熊本市植木町で消費者との提携を基本として有機農業を営む間司さん・澄子さんが最高賞の秀賞を受賞。さらに26年度には、同じく「食と農部門」で、菊池市でネットによる有機農産物の販売を手がける酒店・渡辺商店の渡辺義文さんが秀賞を受賞と、有機農業者の受賞が続いています。



2014年3月、間司さん・澄子さんの祝賀会にて

農林水産祭三賞：天皇杯、内閣総理大臣賞、日本農林漁業振興会会長賞のことがい、農林水産業者の最高名誉と言われています。

第25回全国合鴨フォーラム熊本大会が開催されました!
1月10日、11日に第25回全国合鴨フォーラム熊本大会が「いで湯と球磨焼酎の里」とよしに集い、語り明かそう!次代へ繋ぐ合鴨農法」という大会テーマで人吉市の山水清流花「あゆの里」にて開催されました。当日は、北は北海道から南は鹿児島県奄美まで合計150名が集い、有意義な研修、交流ができました。



当日の資料を500円(送料別)でお分けします。ご希望の方は、熊有研事務局までお問合せください。

一日目は熊本大学の徳野貞雄教授による「集落再生!原発・限界集落・ブルムの実践」という演題での基調講演、地元人吉市の農村レストランひまわり亭の本田節オーナーによる「ムラを元気に!農家民泊とアイガモ農法」という演題による特別講演。3団体、1個人の実践報告と盛りだくさんの内容でした。特に、夕方からの大交流会は、全国各地から合鴨米を使った自慢の地酒や焼酎を持ち寄ってもらい、大いに盛り上がりました。その後の夜なべ談義では、合鴨農法の技術面や流通面、食育・地域振興面など夜遅くまで議論を交わしてもらいました。



二日目は、夜なべ談義の総括発表や合鴨農法の技術的課題などそれぞれの地域からの意見交換を行い、全日程を無事終了することができました。

ちなみに私も一日目の実践報告で我が農園における乾田直播合鴨農法について発表させていただきました。多くの方々に私の省力的な合鴨農法を知ってもらいました。今後、有機農業技術の一つとして合鴨農法がますます普及拡大していくことを祈るばかりです。(熊有研理事・荒毛 正浩)

はばたけ研修生!
養成塾を卒業した研修生の、これからの意気込みを聞きまし



伊藤将宏・伊藤今日子
平成25年6月より1年間、緑商の田代さんの所で、いちご作りの研修を受け、平成26年6月より就農しました。現在、17反のハウスでひのしずくと紅ほっぺを無農薬、無肥料栽培をしています。就農して、販売ルートの確立と安定供給することの難しさを日々感じています。「安全」で「安心」ないちごを多くの方に食べていただけるよう頑張っています。

坂田 将輝

養成塾修了後、南阿蘇で大豆を主に栽培しております。今年には収穫した大豆を味噌に加工し販売していきたいと考えています。地道に食の安全、自分の目指している農を突き詰めていけるように精進していきます。

2014.07～2015.01 活動報告

- 2014年
- 7/16(水) 養成塾集合セミナー
 - 7/24(木) 第4回理事会
 - 7/31(木) フェスタリーダー会議
 - 8/3(日) 判定委員会
 - 8/18(月) 養成塾面接
 - 8/20(水) 県有機農業研修会、JAS公平性委員会
 - 8/21(木) 審査員研修会
 - 8/22(土) 養成塾集合研修・修了式・開始式・意見交換会・ネットワーク会議・交流会
 - 8/30(土) 技術調査 企画委員会
 - 9/5(金) JAS講習会@山都町
 - 9/7(日) 理事会、研修会
 - 9/11(木) ゆうきフェスタ実行委員会
 - 9/17(水) 養成塾集合研修
 - 9/19(金) 委託事業調査員会議
 - 9/20(土) 判定委員会
 - 9/22(月) 養成塾面接
 - 9/29(月) 養成塾修了式・開始式
 - 10/2(木) フェスタリーダー会議
 - 10/4(土) フェスタ出展者説明会
 - 10/8(水) 委託事業企画委員会、JAS講習会@植木
 - 10/9(木) 理事会
 - 10/10(金) 審査員研修会
 - 10/15(水) 養成塾集合研修
 - 10/22(水) グリーン農業マルシェ出展者説明会
 - 10/24(金) ネットワーク拡大幹事会
 - 10/26(日) 判定委員会
 - 11/6(木) フェスタ実行委員会
 - 11/9(日) 委託事業 企画委員会 座談会
 - 11/11(火) 第2回有機農業研修会@ホテル日航、グリーン農業マルシェ
 - 11/16(日) ゆうきフェスタ2014
 - 11/19(水) 養成塾集合研修
 - 11/26(水) 養成塾集合研修 (2年目研修生)
 - 11/30(日) 判定委員会
 - 12/1(月) 認定研修機関連絡協議会@テルサ、委託事業企画委員会
 - 12/4(木) 養成塾集合研修、JAS講習会Aa@宇土
 - 12/9(火) 理事会
 - 12/16(火) 審査員研修会
 - 12/20(土) 新農業人フェア@東京
- 2015年
- 1/7(水) 理事会
 - 1/10(土) 就農相談会@熊本テルサ
 - 1/17(土) 判定委員会
 - 1/21(水) 集合研修
 - 1/30(金) 養成塾事前説明会
 - 1/31-2/1 九州山口有機農業の祭典@大分
 - 2/4(水) 資材協議会の講習会@国際交流会館
 - 2/11-12 審査員・判定委員合同研修会
 - 2/12(木) 理事会
 - 2/17(火) 養成塾研修生面接
 - 2/18(水) 集合研修
 - 2/19(木) JAS講習会@鳥栖フェスタ反省会
 - 2/28(土) 新事務所お披露目会

熊有研は移転します！

念願だった熊有研事務所の移転が、ついに決まりました！
 たくさんのご縁でご紹介をいただいた中で、10年後の有機農業の広がりに応えることのできる広さと利便性をもつと判断された事務所に決定しました。事務所としてだけでなく、料理教室や健康講座、畑の学校、有機農業映画祭、もちつき等、工夫しだいでもできそうな広さです。
 ここに集った人々が友達となり、有機的な人々の輪が広がることができるよう、みなさんと一緒に使っていきましょう！

住 所・熊本市東区小山町 1879-1
アクセス・最寄りのバス停「果実連前」一日 2本くらい。
 本数の多いバス停「戸島農協前」まで 2km 徒歩 25分
 車では、第一空港線の道路沿い
広 さ・65.94坪
駐車台数・10台(休日は30台以上可能予定)

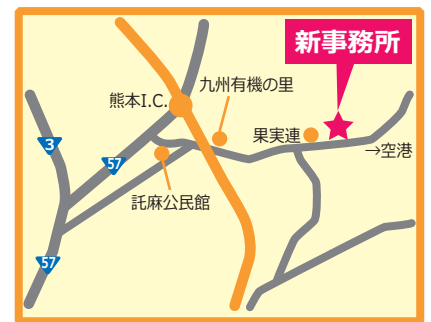
★不要になった物を寄付して下さいますか？

- ①会議テーブル
- ②会議用椅子
- ③他 お電話でご相談ください！

※3月8日前後は、移転作業のためご不便をお掛けするかもしれません。大変申し訳ありませんがご了承のほどよろしくお願いたします。

※電話番号、FAX 番号、メールアドレスは変更ありません。

★2月28日(土)に新事務所お披露目会を予定しています。ぜひ、見に来てください♪



▼編集後記を書かないといけないそうです。何年ぶりだろう。昔は、イラストレータでの編集が楽しくて楽しくて、ボランティアで「ゆうき」を編集していたんですけど、今回は事務職員として意見を言ったということでの編集後記でした(間澄子)

▼初めてフェスタのスタッフとして参加しましたが、様々な形で有機農業に関わっている方がいる様子を見て、これから私は有機農業とどう関わっていきけるのだろうか？と考える良い機会となりました(河村サトミ)

▼はじめての「ゆうきフェスタ」でした。当日は本部に張りついていますが、走り回ってばかりでしたが、会場では多くの方の笑顔を見ることができ

編集後記

このタイトルは、熊有研会報第1号から使われていたものを縮小したものです。

ました。素晴らしい経験でした。皆さまに感謝です!!(尾池智治)

▼今回のフェスタはいかがでしたか？今年もスタッフ大募集中です。ぜひご参加下さい。お待ちしております。(大島洋子)

▼実は去年が厄年だったことが最近判明し、激動の一年を無事に終えたことを改めて感謝しています。結婚・出産を経て、今年の目標は平凡ながら「家族みんな笑顔で過ごす」！楽しい日々になりたいです(半田恵美)

▼広報のお手伝いを始めて一年あまり、なにも深く考えず過ごしていた一年前より少しは考え、理解して、聞けるようになったかなあ！と思えます。特に広報の役目を改めて考えさせられました(末永協子)

▼今回のゆうき、ところどころリニューアルになっていきます。広報誌なので、有機にどっぷりな方にも、あんまり知らないという方にも、たくさんの方に読んでいただけたらなあと思います(出田実美)